



一中ホームページ：国立市HP→くにとちの教育→国立市立小中学校へアクセス

国中だより

国立第一中学校
学校だより

平成29年度11月号

11月15日発行

創立70周年記念式典 「式 辞」

本校敷地のほぼ中央には、銀杏の木が並んでいます。国立第一中学校が現在のこの地に移転したときから植えられていたものであり、七十年を経過した今もこれらの銀杏は、私たちを見守り続けてくれています。まさに本校の歴史を見届けてきた木々です。この銀杏の木とともに歩んだ本校も、本年、創立七十周年の佳節を迎えました。

ここに、国立市立国立第一中学校、創立七十周年記念式典を挙行いたしましたところ、国立市長 永見理夫様、国立市教育委員会教育長 是松昭一様をはじめ、多数のご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席を賜り、本校の新たな出発にご光彩を添えていただきましたこと、高い席からではございますが、心より御礼申し上げます。

さて、本校の七十年の歴史は、我が国における「中学校教育七十年」の一端を担ってきた歴史でもあります。昭和二十二年三月、「学校教育法」が制定され、新たに三年課程の新制中学校が発足し、九ヶ年の義務教育制度が確立されました。この学制改革と人間尊重の教育、機会均等の教育を基本原理として、我が国の今日まで続く教育制度の基礎ができあがったのです。終戦より二年を待たずにこのような改革に踏み切れたのは、国民の教育への期待と熱意の現われですが、文部科学省「学制百年史」によれば、「発足当時の新制中学校は、予算や資材不足から、設備、教材教具のすべてにわたり、また教員組織についても極めて不満足な状態であった。ことに中学校は何らの母体や下地をもたずに発足したため、深刻を極めた。」とあります。当時の谷保村でも同様でした。昭和二十二年五月十六日、生徒と教員だけがいる「校舎なき中学校」。これが国立一中（谷保中学校）の出発でした。そのため、現国立高校や、第五商業高校をお借りし、授業は行われました。

その後、年とともに、徐々に学校の形が整い、昭和二十三年には校章を制定、昭和二十四年には待望の校舎が、地域住民の建設費用の三分の一の寄付を得て完成、昭和二十五年九月に現在の地に移転、都消防学校跡地の木造校舎を昭和五十一年まで二十六年間活用しました。昭和二十七年には、校旗と校歌が制定され、学校としての基礎ができあがりました。また、町の発展に伴い、谷保中学校、国立中学校、国立第一中学校と校名も変更されてきました。さらに、平成八年度には、創立五十周年を見通して、標準服を現在のブレザースタイルに変更し新たなスタートを切ったのです。

このように学校の発展には、形になって見えるものと、一方で形になって見えないものもあります。開校当初、戦後の貧しい時期のため、教室の窓ガラスは割れたまま、金網とセロハンで作った代用ガラスを張り工夫しても、夏は畑からの砂ぼこりが南風に乗って教室に吹き込むと目を開けられないほどであり、冬は毎日寒風が吹きこみ、ストーブもなく、寒さに耐えながら授業が行われていたと聞きます。それでも生徒はじっと講義を聞き、ノートをとって真剣に学習に励む姿がありました。それは、何よりも学習に打ち込める喜びを噛みしめていたからであり、想像を絶するような困難な状況でも、教師と生徒が一体となって乗り越え、草創期の学校創りに励むことができたからです。このことによって、生徒の中に、まじめさや、勤勉な態度といった気風が生まれ、人格・学習ともに立派な生徒であることを目指す校風の原点、基礎が創られたのです。

また、昭和四十年代、消防学校時代から使用していた古い木造校舎はすっかり老朽化し、

雨漏りなど、その不便さは並大抵ではありませんでした。そんな学校生活を三年間過ごした生徒が、卒業にあたり「後輩におくることば」を書いています。一部を紹介しますと、「今、私は『後輩におくることば』を書いている。その時、この我が三年七組の教室の雨漏りのことが、ふと思い出された。それはひどいものだった。机の上、外と同じように、雨が、流れ込んできた時だった。私達は、雑巾を持ち込んで、穴に詰め込んだり、バケツを置いたりした。しかし、こんな時でもみんなと一緒に働いていると、いやだの、つらいだの、そんなことは全然感じなかった。かえって、楽しかった。つまり私が、後輩のみんなに言いたいのは、国立一中は、オンボロだと思っているのは、間違いだといっている。たしかに、校舎はオンボロかもしれないが、国中生はオンボロではない。生徒会だってきちんとやっているし、クラスの仲間だっていい。そんな学校をオンボロなんて思っている人は、何も知らないで、表面だけ見ている人だ。私は、そんな人に、後輩になって欲しくないのだ。いや、決して、なろうはずがないが。」

困難があっても、主体的にそれを乗り越え、そのみならず、自分たちの価値あるものを創り出す力、国中生への深い信頼と期待、また国中に対する誇りが学校のあちこちに満ちている、それが本校の伝統でもあります。

本校の七十年の歴史の中には、順風の時も、逆風の時もあったことでしょう。一中生といえども、時代のうねりにもまれ、良くも悪くも悩み、苦しんだこともあったと思います。しかし、どのような状況の中にあっても、決して踏み外さない、一本の筋というものがあり、中学生として大切なことは何かをしっかりと見つめ、物事の本質を見通す、しなやかで素直な目と心を持っている、これが、国中の変わらぬ精神です。

ところで、創立六十年から七十年。この十年間の本校の教育の柱は何か。それはひと言でいえば「特別支援教育の視点に立った教育活動」と言えます。平成二十一、二十二年度の二年間、国立市教育委員会研究奨励校として「生徒一人一人が輝く指導の工夫～特別支援教育の視点から～」との主題で研究発表を行い、これが出発となっています。時を重ねるように障害者権利条約批准によりインクルーシブ教育システムの構築が叫ばれ、「障害の有無にかかわらず、共に学び、共に育つ理念を共有する教育」の推進が求められました。本校では「交流及び共同学習」、「授業のユニバーサルデザイン化」などを研究し実践を重ねてきました。それは、誰もが相互に人格と個性を尊重し支えあい、積極的に参加・貢献していくことができ、共生社会実現に向け取り組むことのできる生徒の育成であります。生徒の皆さんは、これから社会においても、また地域においても様々な立場で活躍することと思います。そのときに「共生」の視点を大切にしてほしいのです。そのためにもあらゆる学習に積極的に取り組み、「人間力」をどんどん磨いていってください。期待しています。

結びに、昭和二十二年の開校式にあたって、当時の佐藤康胤谷保村長は、「中学校は村立の最高の学校であるから、村の教育の中心となって、正しく社会現象を判断し、行動できる人間を作してほしい。」と要望されました。皆さんの立場に立てば、「正しく社会現象を判断し、行動できる人間に育ってほしい。」ということです。

この要望を、ここ国立の地域に今も生きる願いととらえ、その実現に向けた教育活動を、本日より新たに開始することをお誓いするとともに、国立市、国立市教育委員会の皆様、そして地域の皆様におかれましては、今後とも本校に対する変わらぬご指導、ご鞭撻を賜り、本校生徒への温かなご支援、励ましをいただきますようお願い申し上げます、式辞といたします。

平成二十九年十一月十日

国立市立国立第一中学校

校長 黒田 宏一

合唱コンクールを終えて

10月21日(土)、一橋大学の兼松講堂において合唱コンクールが開催されました。今年度も合唱コンクール実行委員会のしっかりした準備のおかげで滞りなく行うことができました。当日は生徒一人ひとりの一生懸命さが気持ちよく伝わってくるような本当にいい歌声でした。合唱コンクールで入賞できたか、惜しくも賞に届かなかったかに関わらず、多くの生徒が楽しく歌えたと感想をもてたようで、そのことが何よりも素晴らしかったと思います。



| | 最優秀賞 | 優秀賞 |
|-----|------|------|
| 1年生 | 1年3組 | 1年2組 |
| 2年生 | 2年4組 | 2年1組 |
| 3年生 | 3年1組 | 3年4組 |
| A組 | 優秀賞 | |

SNS 一中ルールを再確認しよう！

昨年度、東京都の指定を受けて SNS に関する研究を本校で実施しました。年度当初に LINE 株式会社から講師を派遣していただき、SNS に関する講習会を実施しました。また、保護者アンケートをとって保護者にもルール作りに参加していただきました。生徒の皆さんには何度となく学習会やクラス討議を重ねてようやく SNS 一中ルールが完成しました。

1年が経過して、皆さん SNS 一中ルールを意識して毎日生活ができていますか？意識していない生徒は、もう一度一中ルールを思い出してください。そして、ルールを守って生活できるように心掛けてみましょう。

1. 送信・投稿するときに、誤解されるような表現はしない

- ・複数の意味がとれるような表現がないか見直そう。

(例)「なんでくるの」(どんな手段で来るかと、なぜ来るのかという2つの意味にとれる)

2. チェーンメールは送らない、回さない

- ・チェーンメールを回しても得になる情報はありません。
- ・送った相手が迷惑だと感じることもあります。
- ・SNS上のタイムラインで回るバトンについても控えよう。

3. 相手と使用する時間を決めて、遅くても23時までにしてよう

- ・SNSの使用によって、寝る時間が遅くなると、遅刻をしやすくなったり、勉強に集中できなくなったりします。

4. 個人が特定できるものは載せない、送らない

- Twitter など不特定多数が目にするものには、顔写真や住所などを載せないようにしましょう。

5. 返信がなくても気にしない

- SNS を使う際は相手のことを思いやったやり取りをしよう。事情があって返信できない場合もあります。
- 相手への思いやりには欠けるやりとりはやめよう。

6. 自分の生活リズムが SNS で崩れないようにしましょう

- SNS の使用が続いてしまい、食事などをおろそかにすると、体の成長にも影響がでます。
- マナー違反につながることもあります。(例 人が話している時など)・家族とのかわりを大切にしましょう。

<道徳授業地区公開講座(11月25日(土)午前)のお知らせ>

1, 2校時は授業、3校時は道徳、4校時は多摩教育事務所指導課長の齋藤将之先生を交えて意見交換会を行います。

【1校時 8:45~】 【2校時 9:45-】 【3校時 10:55-】

| | | | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|----------|-----|-----|
| 1-1 美術 | 1-2 音楽 | 1-3 理科 | 1-4 数学 | | A組 | | |
| 2-1 数学 | 2-2 数学 | 2-3 家庭 | 2-4 国語 | | Aグループ 国語 | 授 業 | 道 徳 |
| 3-1 社会 | 3-2 国語 | 3-3 英語 | 3-4 理科 | 3-5 体育 | Bグループ 数学 | | |

※ 4時間目は体育館にて意見交換会を実施いたします。

※ 午後2時よりPTA主催のスクールカフェテリアを開催します。先生方と進路、学習、部活動等様々なことでの意見交換をしてみませんか。ご都合のつく方は是非、おいでください。

<お知らせ>

★11月5日(日)に恒例の国立市民祭が行われ、一中から「国中屋」を出店し生徒達から提供していただいた文房具や、スタッフの手作り髪飾りや、スマイルなどを売りました。多くの中生や保護者の方に参加していただき、6万円以上の収益を上げることができました。「売り上げ金は福島県相馬市の中村第二中学校に送らせていただきますので、復興に役立てていただければと思います。」ご協力ありがとうございました。

★この季節学校の桜の落ち葉が凄く、用務さんにとって1年で一番忙しい時期です。そこで、立ち上がってくれたのが「落ち葉掃きボランティア隊」です。募集したところ快く多くの生徒が参加してくれました。特に1年生の参加が多く、これからの一中を支えてくれる頼もしい存在です。



★恒例の三小落ち葉掃き、焼き芋大会を12月2日(土)に行われます。毎年一中生が一生懸命にお手伝いをしてくれて、大変感謝されています。今年も多くのボランティアを募集しますので是非積極的に参加してください。

募集は後日行いますので、参加希望の生徒は担当の関先生まで申し出てください。

★10月26日(木)に第9回中学生「東京駅伝」大会の予選会を国立三中の校庭で行いました。一中からは男女とも多くの2年生が参加し、予選のレースでも一中生が上位に食い込むシーンが多く見られました。選考結果は今週の17日の金曜日に発表しますので参加した生徒は楽しみに待っていてください。

★10月28日(土)に国立市教育委員会主催の国立市青少年音楽フェスティバルが、くにたち市民総合体育館で開催されました。一中からは合唱部とリコーダー部が参加し、練習の成果をしっかりと発揮し、会場が美しい音色に包まれ大きな拍手をいただきました。

《11, 12月の主な予定》

11月

10/30日(月)～11/9日(木)進路面談
(3年)
10/31日(火)～11/2日(木)職場体験
(2年)
10日(金)創立七十周年記念式典
15日(水)～17(金)期末試験
23日(木)勤労感謝の日
24日(金)ボランティア(2年)
25日(土)道徳授業地区公開講座
26日(日)
27日(月)生徒会集会
28日(火)避難訓練

12月

1日(木)東京駅伝結団式
4日(月)～11日(月)三者面談
14日(木)専門委員会・中央委員会
15日(金)ボランティア(1年・A組)
18日(月)スキー保護者会(1年)
19日(火)生徒会朝礼
22日(金)給食終了 大掃除
23日(土)天皇誕生日
24日(日)
25日(月)終業式
26日(火)冬季休業始

